

カラフルな未来へ 総合の力

山形県第6次教育振興計画

《基本目標》

人間力に満ちあふれ、
山形の未来をひらく人づくり

《テーマ》

つなぐ
～いのち、学び、地域～

《目指す人間像》

「いのち」をつなぐ人
学び続ける人
地域とつながる人

目指す生徒像

「地域を愛し、自他の未来を切り拓く
生徒」

学校の教育目標

「個性の確立」
「自立と共生」
「社会への貢献」

校訓

・精進をもって
自らを修める
・礼節をもって
人に接する
・誠心をもって
社会に貢献する

めざす学校像

- ① 基礎・基本を大切にし、学力向上に向けて教育活動の充実に努める学校
- ② 人とかかわりの中でことば・心・行動を大切にする生徒を育てる学校
- ③ 総合学科の特色である多様な科目の評価と改善に努め、進化する学校
- ④ 保護者・地域との連携を密にし、地域に貢献できる学校

キャッチ力（とらえる力）

- 課題をとらえる
- 物事の本質をとらえる
- 自他の良さ・魅力に気付く

ハート力（感じる力）

- 人の気持ちを感じ取る
- 相手の状態を察する
- 美しい自然を感じる

本校キャリア教育で身につけさせたい「4つの力」

アピール力（伝える力）

- 人の話をよく聞く
- 要点をまとめて伝える
- わかりやすい言葉で伝える
- 志望動機・長所を伝える

チャレンジ力（挑戦する力）

- 勉強や部活動で目標を持つ
- 進路目標実現を目指す
- 困難なことにも挑戦する
- 地域や社会に貢献する

◇キャリア教育の視点から見た「産業社会と人間」、総合的な学習の時間、特別活動の重点

総合的な学習の時間（2・3年次）		特別活動（1～3年次）
・横断的、総合的な学習や探究的な学習を通しての学び方やものの考え方の育成	・地域社会を含めた他者と協働して主体的、創造的に取り組む態度の育成	・望ましい人間関係を形成し、集団の一員として諸課題を解決する力の育成
「産業社会と人間」（1年次）		・社会的に自立しようとする自主的、実践的な態度の育成
・ボランティア活動や農業体験などのキャリア形成に資する体験的な活動の充実	・自己の在り方、生き方を考える力の育成	

◇キャリア教育の視点から見た各教科の重点

国語	地歴・公民	数学	理科	保健体育	芸術	外国語・英語	家庭	情報	農業	商業	福祉	観光
・実生活で生きてはたらく国語の能力の育成 ・自分の考えを持ち、根拠を明確にしながら表現する力の育成	・「基軸となる問い」を中心に据えた主体的学習活動の展開と交流型授業の確立 ・身近な地域を教材として活用する工夫	・自ら課題を見だし、構想を立て解決する力の育成 ・学習した内容を生活と関連づけ具体的な事象の考察に活用する力の育成	・探究的活動を通じた表現力、思考力の育成 ・持続可能な社会の構築を考慮した環境教育の充実 ・大学や研究機関等との連携	・公正、協力、責任、参画などの意欲の向上 ・ヘルスプロモーションの考え方を生かし意志決定や行動選択ができる力の育成	・郷土や日本の伝統文化、諸外国の文化に対する理解 ・主体的な学びを通じた個性や感性の伸長	・英語を用いたコミュニケーション能力の向上 ・ALTや留学生との交流を契機にした英語学習への動機づけと国際理解教育の推進	・家庭と社会に向き合い、生涯を見通した生活設計に関わる学習の充実 ・自ら生活課題を見つけ、解決する能力の育成	・情報の活用、新たな情報の創造等、情報化社会を取り巻く環境への対応 ・課題を解決し実践する力、地域へ発信する力の育成	・「いのち」の大切さや「食の安全」への理解など知識・技術の習得と倫理観の育成 ・地域社会の課題解決や活性化につながる学習の展開	・勤労観、職業観、起業家精神の育成 ・地域活性化と経済のグローバル化に対応できる人材の育成 ・基礎的、汎用的能力の育成	・地域や福祉施設、産業界等との連携・交流 ・少子高齢化の進展や福祉ニーズの多様化などに対応する能力の育成 ・福祉観や倫理観の育成	・地域と連携しながら地域の観光資源を発掘し発信する力の育成 ・県内外の人々と交流する能力の育成